

p.26～29 表4, 5では、「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」の2つの観点の全体イメージを参考に示す。その際、各学校の生徒の実態に応じて項目の内容を検討することが大切である（参考例のため、ここでは評価規準は「改善通知」別紙4を用いた）。

表4 保健体育科「思考・判断・表現」の観点のマトリクス【第1学年及び第2学年・体育分野】

領域名	体づくり運動	器械運動	陸上競技
評価規準	●心と体の関係に気づき、体の調子を整える方法を考えて活動できる。 ●仲間と協力したり交流したりすることと心の状況を考えて活動している。 ●自分の体力の状況に合った合理的な運動を考え、選択できる。	●自分の技能の習得状況を判断し、学習すべき課題を設定できる。 ●課題に応じた練習の方法を選択したり工夫したりすることができる。 ●互いに助言し合ったり学習できる。 ●学習の結果、めあての実現状況を適切に判断できる。	●自分の技能の習得状況を判断し、学習すべき課題を設定できる。 ●課題解決に向けた練習方法を工夫している。 ●互いに課題を指摘し合ったり学習できる。 ●学習の結果、めあての実現状況を適切に判断できる。
評価項目			
自分の現状を認識し、課題を見つけることができる	○	○	○
自分の課題をもとに学習のめあてを設定できる	○	◎	◎
自分の課題を解決する運動の選択が適切である	○	○	○
課題を解決するための学習計画を立てている		◎	◎
課題の解決に向けた学習の工夫がみられる		◎	◎
互いの技能に対して、指摘や助言ができる		◎	◎
指摘や助言が適切である	○	◎	◎
仲間の指摘や助言を受け止め学習に生かしている	○	○	○
仲間やグループで自分の考えを述べている			
仲間の発言や意見をしっかり聞く姿勢がある		◎	◎
仲間の意見を聞き、それに対する意見を述べている		○	○
自分や仲間の安全を考えて学習している	○	◎	○
課題やめあての実現状況を適切に判断できる	◎	◎	◎
課題解決後に新たな課題設定ができる	◎	◎	◎
仲間同士、グループ間で批評し合うことができる	◎	◎	◎
テーマに沿って話合いの方向性を決められる			
テーマをさまざまな方法で調べ考えを広げている			
他の学習内容との関連に気づき、関連づけている	○		

水泳	球技	武道	ダンス	体育理論
●学習する泳法の課題を明確にし、課題設定ができる。 ●バディーと助言し合ったりして技能を習得しようとしている。 ●学習の結果、めあての実現状況を適切に判断できる。 ●安全な学習の仕方を考え学習している。	●個人技能の課題を把握し、解決に向け学習している。 ●チームの課題を見つけ、解決に向け計画的に学習している。 ●仲間と協力して課題解決に向け学習している。 ●学習の成果を判断し、新たな課題設定をすることができる。	●技能を習得するための運動の方法を考えられる。 ●自分の得意技に至る技の連絡や変化を工夫できる。 ●仲間と協力して課題解決に向け学習している。	●テーマや踊り方に合った学習の工夫を工夫している。 ●仲間と協力したり交流したりしながら学習を進めている。 ●踊りのできばえを他グループと発表・批評し合っている。 ●より感情を込めたり雰囲気を表したりするための工夫をしている。	●運動の多様性について話合い、意見交換したり、調べたりしている。 ●運動の意義や効果について仲間と意見を出し合い、情報収集しまとめている。 ●学習の中で他の運動単元との関わりについて考え、生活の中で実践する工夫をしている。
○	○	○	○	○
◎	○	◎	○	○
	○			
○	◎	◎	◎	○
○	○	◎		
◎	◎	◎	◎	
◎	○	○	○	○
◎	◎	◎	◎	
◎	○	○	○	
◎	◎	◎	◎	◎
				◎
				◎
				◎